

令和7年度 教育課程編成届

○ 教育目標

よく考え、やさしく、たくましい児童の育成

〈めざす児童像〉・よく考えて表現する子【知】

・やさしくおもいやりのある子【徳】

・心身ともにたくましい子【体】

○ 学校経営の基本方針

～ チャレンジ、笑顔いっぱいの上三宮 ～

- ・ 自分で目標を見つけ、それに向かってチャレンジする児童を育成します。
- ・ わかった、できた「笑顔」、精一杯がんばった「笑顔」、協働して取り組んだ「笑顔」の三つの笑顔が輝く楽しい学校を創造します。
- ・ 学校と地域がつながり、協働する中で、子どもたちの笑顔あふれる学校を創造します。

○ 重点目標

- (1) 自己肯定感を育む学級経営
- (2) 確かな学力を育む授業づくり
- (3) たくましい心と体を育む健康づくり
- (4) 本校の特色を生かした教育（小規模特認校制度）

○ 教育目標具体化のための観点 ※詳細は、学校経営・運営ビジョンによる

- (1) 自己肯定感を育む学級経営
 - ・ 心の教育の充実 ・ 学級経営の充実 ・ 生徒指導4つの視点の重視 ・ 特別支援教育の充実
- (2) 確かな学力を育む授業づくり
 - ・ 基礎的、基本的な知識、技能の習得 ・ 思考力、判断力、表現力の育成
 - ・ 家庭学習の習慣化 ・ 研修の充実
- (3) たくましい心と体を育む健康づくり
 - ・ 体力の増進 ・ 基本的生活習慣の確立 ・ 食育の推進 ・ 健康に関する指導の充実
- (4) 本校の特色を生かした教育（小規模特認校制度）
 - ・ 外国語(英語)教育 ・ ICT教育（プログラミング教育の推進）
 - ・ 個に応じた指導 ・ 体験学習の充実 ・ 地域との連携

1 教育課程編成の方針

(1) 教育課程編成の基本方針

- ① 教育基本法をはじめとする関係法令及び学習指導要領の示すところに従い、本県教育委員会重点施策並びに喜多方市教育委員会重点施策を踏まえ、教育課程を編成する。
- ② 「小規模特認校制度」の導入に伴い、特色ある学習活動として「外国語（活動）」と「ICT教育」の充実を図る。そのため、「授業時数特例校制度」を活用し、標準授業時数の調整を行う。
- ③ 児童の特性や学校・地域の実態を踏まえ、各教科等の指導にあたっては、地域との連携による体験的な活動を効果的に取り入れ、社会に開かれた教育課程を編成する。

- ④ 第3・4学年、第5・6学年が複式学級の編制となる。各教科等の指導に当たっては、可能な限り学年別の指導計画を作成するが、学習内容によって異年齢・異学年集団での学びが有効であると思われる場合はその形態を積極的に取り入れ目標達成を図る。
- (2) 学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実
- ① 道徳教育の全体計画及び指導計画に基づき、道徳科の時間を要として各教科・外国語活動・特別活動・総合的な学習の時間との関連、家庭や地域社会との連携を図りながら、児童の内面に根ざした道徳性の育成に努める。計画的・発展的な指導が十分行われるように、道徳教育全体計画別業」を活用するとともに家庭や地域との連携や役割分担を図るように推進する。
- ② 「特別の教科 道徳」の授業の充実を図り、いじめのない豊かな人間関係を醸成する。「考え、議論する道徳」実現のため、「ふくしま道徳資料集」等を適切に活用して実施するとともに、道徳教育推進教師を中心に教員一人一人が「特別の教科 道徳」の授業改善を図り、道徳の時間を要として各教科等における道徳教育の充実を図る。
- ③ 日常生活の中で重点目標を設定するとともに、発展的・系統的な指導によって道徳的実践力が高まるようにする。特に「規則の尊重」「希望と勇気、努力と強い意志」「親切、思いやり」について、重点的な指導が図られるようにする。
- (3) 学校の教育活動全体を通じて行う体育・健康の取り扱い
- ① 体力・運動能力調査を分析し、体育科の授業においては、運動身体づくりプログラムを活用し、児童の体力の現状に基づいた重点的な指導を行う。
- ② 年間を通して朝のマラソン（春～秋）や朝のなわとび運動（冬）を柱とした体力向上に取り組みとともに、学校の施設や遊具を積極的に活用できる教育活動を工夫し、児童が主体的に運動に親しむ態度を育成する。
- ③ 健康・保健指導に関して、関係機関の利用を図りながら、児童自らが健康で安全な生活をめざす態度の育成に努める。
- ④ 市や地域の体育的行事との関連を考慮した単元の配当を行い、市や地域の体育的行事に積極的に参加する主体的な態度を支援していく。
- (4) 総合的な学習の時間の取扱い
- ① 一人一人が各教科で学んだ知識や態度をより発揮できる場面（追究場面・発表場面）を設定し、主体的な学びが連続し、「学ぶ楽しさ」を体験できるように支援していく。
- ② 地域人材や関係機関との「出会いやふれあい」から、地域の「よさ」を感得し、「人・地域・自然に感謝する心」を育てながら、児童の「学びの欲求」が持続・発展するようにする。
- ③ 活動のめざす「ねらい」を明確にとらえながら、児童に適切な支援と指導を繰り返し行い、学習が連続するようにする。さらに、「まとめの時間」や「発表する時間」を確実にとり、学習の成果を自らが感得できるようにする。
- ④ 年間28時間を農業科に、20時間をプログラミング学習に充て、その他、発達段階に応じて環境教育、伝統文化教育等の地域に関するテーマを設ける。
- (5) 特に必要があつて加える指導内容の取り扱い
- ① 1学年及び2学年においては生活科の時数を20時間増やし、発達段階に合わせた外国語活動やICT教育を行う。また、3学年以上においては外国語活動または外国語科の時数を30時間増やし、コミュニケーション活動を軸とし、児童が主体的に伝えたいことを伝え合う外国語学習を充実させる。

- ② 放射線学習について、学級活動の時間に各学年2時間設定し、全学年でコミュータンふくしまを訪問し放射線学習を実施する。
- ③ 3学年以上において、クラブ活動の時間を13時間設定し、公民館と連携しながら児童の創意に基づく活動を実施する。
- (6) 創意を生かした教育活動
- ① 基礎学力の定着を図り、さらには勤労・奉仕的活動を通した豊かな情操を養うために、朝の時間に、読書タイム、全校朝の会に加え、愛校活動、学力向上のための時間を確保する。
- ② 帰りの会の時間に、「なかたく（なかよく たくましく 生きる）児童」を目指して、自分のよさや友だちのよさを振り返る「なかたくタイム」の時間を設ける。
- ③ 年間20回程度「上三タイム」を設定し、計画に基づき児童主体の集会活動や異学年交流活動等を実施する。
- (7) 計画の大部分にわたって改訂し、当該年度から実施しようとする事項
特になし
- (8) その他必要な事項
- ① 第1学年入学当初の「スタートカリキュラム」の取り扱い
入学した児童がスムーズに学校生活へ適応していけるように児童に学校生活に対する意欲と安心感をもたせ幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続をもたらすようにする。
- ② 第1学年、第2学年においては、生活科を中心に国語科・音楽科・図画工作科・体育科の合科的指導を一部の単元で実施し、発達段階に応じた無理のない具体的な活動を通して指導する。
- ③ その他（1）から（6）で表現できなかった事項
- ア 繰替休業日の実施とその理由
- 令和7年6月1日(日)に運動会を実施するため、6月2日(月)を繰替休業日とする。
 - 令和7年10月11日(土)にオープンスクール①（授業参観 他）を実施するため、10月14日(火)を繰替休業日とする。
 - 令和7年10月25日(土)にオープンスクール②（学習発表会 他）を実施するため、10月27日(月)を繰替休業日とする。

2 授業日数及び時数の運用

(1) 年間授業日数

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
第1学期	72	72	72	72	72	72
第2学期	82	82	82	82	82	82
第3学期	49	49	49	49	49	49
計	203	203	203	203	203	203

(2) 年間授業時数

① 各教科・道徳科・外国語活動・総合的な学習の時間・学級活動の時数【単位/時】

領域 学年	各教科										道徳科	外国語活動	総合的な学習の時間	学級活動	合計 (週数)
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図工	家庭	体育	外国語					
1	298		136		122	64	64		98		34			34	850 (34)
2	307		175		125	66	66		101		35			35	910 (35)
3	242	64	175	81		55	55		100		35	65	73	35	980 (35)
4	242	85	175	95		55	55		100		35	65	73	35	1015 (35)
5	172	95	175	95		45	45	55	90	100	35		73	35	1015 (35)
6	172	105	170	95		45	45	50	90	100	35		73	35	1015 (35)

② 特別活動の内容別時数

③ 1単位時間の時間

内容 学年	A 学級活動	B 児童会活動	C クラブ活動	D 学校行事
1	3 4	1		4日 34時
2	3 5	1		4日 34時
3	3 5	2	1 3	5日 30時
4	3 5	2	1 3	5日 30時
5	3 5	2	1 3	6日 30時
6	3 5	2	1 3	7日 30時

45分

3 日課表別紙のとおり

4 年間行事予定表別紙のとおり

5 指導計画

(1) 各教科の指導計画別紙のとおり

(2) 特別の教科である道徳の指導計画別紙のとおり

(3) 外国語活動の指導計画別紙のとおり

(4) 総合的な学習の時間の指導計画別紙のとおり

(5) 特別活動の指導計画別紙のとおり

(6) その他（教育課程編成の特例に該当する事項の指導計画）別紙のとおり